

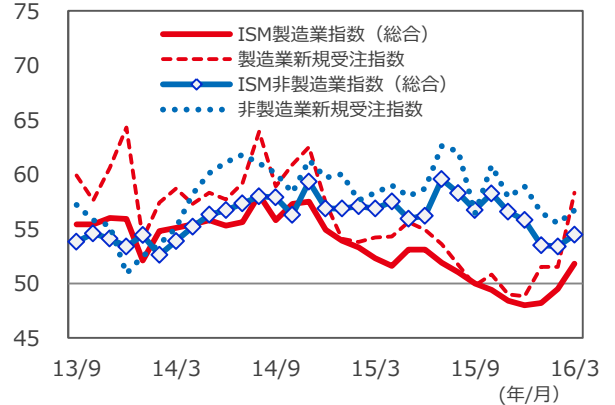
今日のトピック 米国のISM景況感指数（2016年3月）

製造業、非製造業とも上昇局面に入ったことを示唆

ポイント1 製造業指数は続伸 新規受注が大幅に上昇

- 2016年3月のISM製造業景況感指数は、総合指数が51.8ポイントとなりました。好不況の分岐点となる50ポイントを上回ったのは、15年8月以来7カ月ぶりのこととなります。
- 総合指数を構成する5指標のうち、先行性のある新規受注指数が急上昇したほか、生産指数や、製品需給の逼迫度合いを示す入荷遅延指数も改善するなど、内容も良好でした。
- 新規受注指数と在庫指数の動きから判断すると、製造業の在庫調整は一巡し、拡大局面に入ったと見られます。

【ISM景況感指数】



(注) データ期間は2013年9月～2016年3月。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

ポイント2 非製造業指数も上昇 拡大基調を継続

- 一方、3月の非製造業景況感指数は前月比1.1ポイント上昇の54.5となりました。
- 指数は50ポイントを超える水準で、鈍化傾向にありましたが、再び上昇軌道に戻ってきました。非製造業の拡大ペースが再加速しつつあることを示唆するものです。

【ISM景況感指数】 (ポイント)

	製造業			非製造業	
	3月	前月比		3月	前月比
総合	51.8	+2.3	総合	54.5	+1.1
新規受注	58.3	+6.8	事業活動	59.8	+2.0
生産	55.3	+2.5	新規受注	56.7	+1.2
雇用	48.1	▲0.4	雇用	50.3	+0.6
入荷遅延	50.2	+0.5	入荷遅延	51.0	+0.5
在庫	47.0	+2.0	在庫	52.5	±0.0

(注) 総合指数は、製造業が上記の5つの構成指数の平均、非製造業が上記のうち在庫指数を除く4つの構成指数の平均。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

今後の展開 緩やかな利上げ継続へ

- ISM景況感指数から判断すると、まず製造業が今年の1月～3月頃に底入れし、その後を追うように非製造業が拡大のペースを加速させてきたもようです。米国経済も今後、成長速度を速める可能性が高いと見られます。
- 米景気の拡大を背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）は利上げを継続すると予想されます。ただ、物価上昇率がFRBの目標とする+2%を下回っていることなどから、そのペースは緩やかなものにとどまると見られます。

ここもチェック! 2016年4月 4日 米国の雇用統計（2016年3月） 2016年3月29日 財務勘定から見る「企業財務」（米国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。